

平成26年度亀山市総合防災訓練

1 訓練の目的

「南海トラフ地震」が発生すると、当市において、最大震度6強の強震動を受けることが想定されており、被害の軽減のためには、「自らの身は自ら守る」「地域で助け合う」といった意識に基づく「自助・共助」が重要となります。

本訓練は、「いつ起きるかわからない地震災害」に対して、市民一人ひとりが日頃より地震災害発生時に速やかに避難行動ができるよう、防災訓練を通じて、地域の特性にあった行動を学んでいただき、「地域の防災力を高める」ことを目的とします。

2 訓練の概要

(1) 訓練実施日時

平成26年10月12日（日） 7時45分から12時00分

(2) 場 所

【主会場】 関B&G海洋センター（指定避難所）

【地区会場】 各自治会の一時避難場所・避難経路

(3) 訓練対象

関B&G海洋センターを避難所とする自治会（11自治会）

3 訓練の内容

【地区会場】

① 避難訓練（個人避難～集団避難）

- ・住民一人ひとりが日頃より地震災害発生時に速やかに避難行動ができるよう、自治会主導による避難訓練を実施する。
- ・各地区においては、一時避難場所への避難及び安否確認等を行い、徒歩にて関B&G海洋センターに集団避難訓練を実施する。

【主会場】

② 災害時応急救護訓練

- ・三角巾、風呂敷等を使用した応急手当
- ・要救護者に対する心肺蘇生法体験
- ・応急担架作製及び負傷者搬送

③ 体験訓練

- ・地震体験車による震度体験
- ・煙体験

④ 避難所運営訓練

- ・アルファ米による非常食炊き出し訓練
- ・テント設営訓練

⑤ 車両展示及び展示ブース等の見学

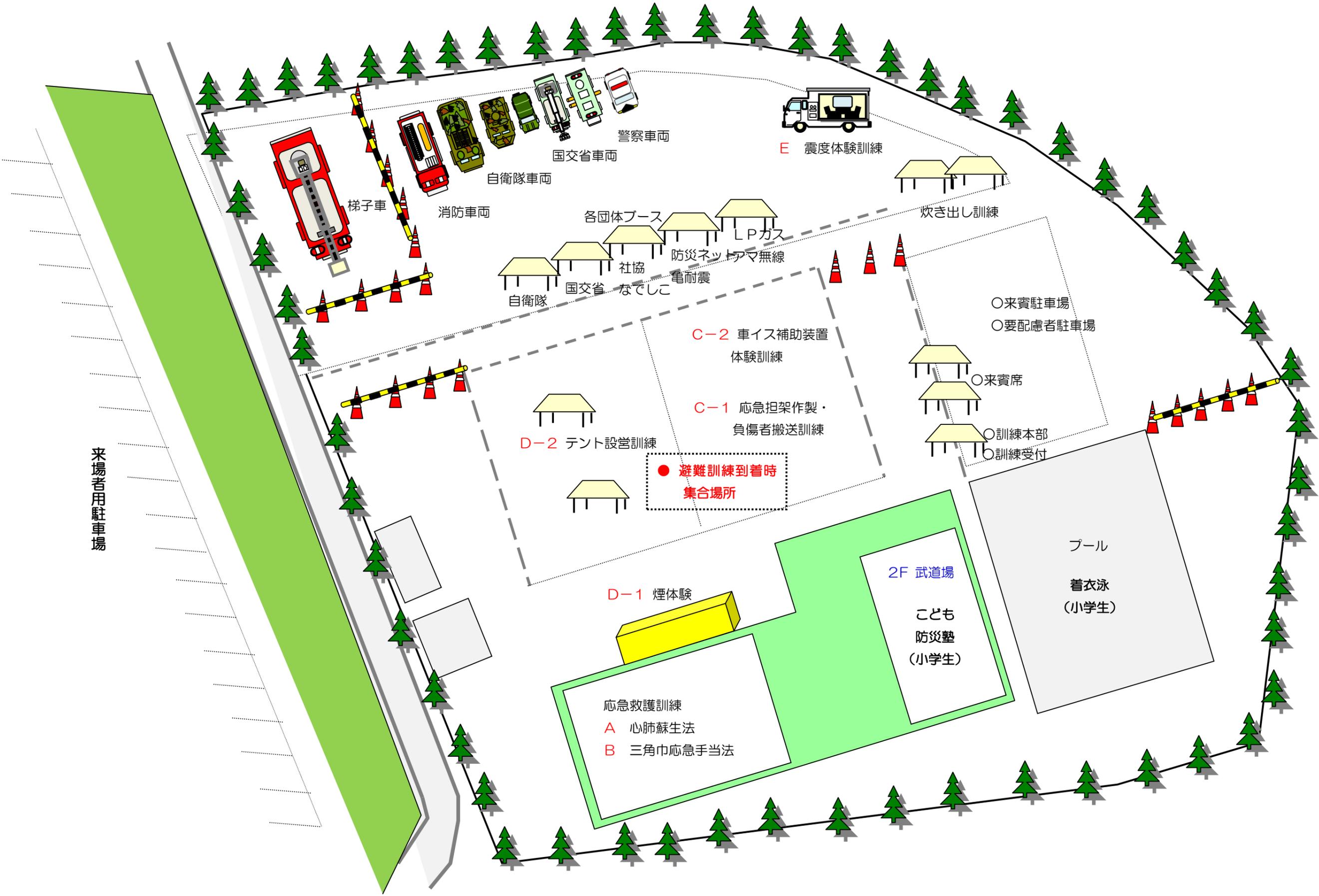
4 参加予定機関

- | | |
|-------------------------------|----------------------------------|
| ・ 防衛省陸上自衛隊第33普通科連隊 | [災害救助資機材／災害派遣車両展示] |
| ・ 防衛省自衛隊三重地方協力本部 | [災害派遣活動記録等の展示等] |
| ・ 国交省三重河川国道事務所 | [車両展示] |
| ・ 国交省北勢国道事務所 | [車両展示／災害活動記録等の展示] |
| ・ 三重県防災対策部防災企画・地域支援課 | [地震体験車] |
| ・ 三重県鈴鹿地域防災総合事務所 | [防災関連啓発／着衣泳] |
| ・ 日本赤十字社三重県支部 | [心肺蘇生法／車両展示] |
| ・ 日本赤十字社亀山奉仕団 | [炊き出し訓練] |
| ・ 亀山市社会福祉協議会 | [ボランティアセンター開設・運営] |
| ・ 亀山市ボランティア連絡協議会 | [ボランティアセンター開設・運営] |
| ・ かめやま防災ネットワーク | [防災関連啓発／こども防災塾] |
| ・ 亀山耐震推進委員会 | [住宅耐震啓発] |
| ・ 亀山市消防団
(第9・10・11分団、女性分団) | [避難者誘導／応急担架作製・搬送
／テント設営／応急手当] |
| ・ 三重県亀山市LPガス協議会 | [防災用品の展示] |
| ・ 三重県亀山警察署 | [交通警戒／地区パトロール／車両展示] |
| ・ 三重県看護協会亀山支部 | [健康相談及び血圧測定] |
| ・ 亀山市消防本部 | [応急手当／煙体験／車両展示] |
| ・ 災害通信ボランティアネットワーク亀山 | [アマチュア無線通信・啓発] |
| ・ 亀山市身体障害者福祉協会 | |

5 訓練参加者見込数 (H26.8.27 現在) ※市職員・関係機関除く

地域住民 (11自治会)	231名 (うち小学生7名・幼児1名)
地域外の住民	40名
<hr/>	
合計	271名

防災訓練主会場配置図【関B&G海洋センター】



来場者用駐車場

応急救護訓練
A 心肺蘇生法
B 三角巾応急手当法

2F 武道場
子ども
防災墊
(小学生)

プール
着衣泳
(小学生)

● 避難訓練到着時
集合場所

○ 訓練本部
○ 訓練受付

○ 来賓席

○ 来賓駐車場
○ 要配慮者駐車場

各団体ブース
自衛隊 国交省 社協 防災ネット 電耐震
自衛隊 国交省 社協 防災ネット アマ無線 LPガス

炊き出し訓練

E 震度体験訓練

警察車両

国交省車両

自衛隊車両

消防車両

梯子車

平成26年度亀山市総合防災訓練 会場案内図

